



笹小だより No. 2

令和 4年 4月 28日

横浜市立笹野台小学校

「年度初めの三つのお話」

校長 飯田 雅人

さわやかな風が吹き、暖かさも日に日に増してきました。生命の息吹を感じられる季節となり、それに合わせて子どもたちも笹野台小学校での学びを生き生きとスタートさせています。教室を見て回ると、1年生も少しずつ学校生活に慣れ、落ち着いて毎日を過ごしている姿を見ることができ、私もうれしく思っています。コロナ禍の中、ここ2年間はペア学年での活動も制限されてきましたが、今年度は、6年生が1年生の朝の学校生活をサポートするという活動を再開しました。1年生は、6年生のお兄さん、お姉さんに教えてもらえることをとてもうれしそうにしています。そしてこの活動は、6年生にとっても自分たちの成長のための絶好の機会ともなっています。

私は、今年度これまでにあった朝会の中で、子どもたちに1つずつ、3回に分けてお話をしてきました。

一つ目は、自分の名前を呼ばれたときには、「はい」という気持ちのよい返事ができるということです。自分自身に自信をもっている人は、きっと気持ちのよい返事ができるはずです。逆に何か心配事があったり、不安な気持ちになったりしているときには、「はい」という気持ちのよい返事ができないことが想像できます。だから、自分の名前を呼ばれたときには、「はい」という気持ちのよい返事ができるようにしてみてください。

二つ目は、「きれいな歌声が響く教室」にしてくださいというお話です。マスクをしながら歌っているので、なかなか思ったようにはいかないのですが、みんなで声をそろえて歌うためには、友達の歌声を聞いて、それに合わせて自分も歌うことが必要です。自分勝手な気持ちで歌っているだけでは、みんなでそろったきれいな歌声にはなりません。また、「友達に笑われないかな」とか「自分だけ、音程がずれていたらどうしよう」という心配がない、安心できる友達関係のクラスであれば、一人ひとりが思い思いの声を出して歌うことができるでしょう。

三つ目は、掃除がしっかりとできる人になってください。そしてそういうクラスにしてくださいというお話です。まず、掃除がしっかりとできる人は、物を大切にできる人です。教室にごみがたくさん落ちていたり、掲示物がはがれていたりしていても誰も拾わない、誰も直そうとしないクラスで生活していると、心が不安定になってくることもあるでしょう。言われたから掃除をするのは誰でもできます。大事なものは、気が付いた時に自分から進んで行うことです。これは、学校でも、おうちでも同じですよ。

さて、子どもたちはご家庭でも実践できているでしょうか？ゴールデンウィークの期間中、子どもたちに声をかけていただけると幸いです。学校とご家庭での指導が一体化できるといいなと思っています。よろしくお願いいたします。